令和６年度　京都市予算案　事業概要

文化市民局

事務事業名	スマート区役所の推進に資する取組		
予　算　額	318,000 千円	新規･充実･継続の別	新規
担　当　課	文化市民局地域自治推進室（222－3048）		

［事業実施に至る経過・背景など］

「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を念頭に、デジタルデバイドに配慮しつつ、区役所業務のデジタル化による「市民サービスの向上」及び「業務の効率化」を推進。

令和６年度は、機器操作等の不安感を払しょくするデジタルデバイド対策、「行かない・書かない・待たない」窓口の取組充実による市民サービスの向上、業務プロセスのデジタル化やそれに併せた事務処理の集約・委託化による業務の効率化を推進。

［事業概要］

【デジタルデバイド対策・市民サービス向上】

・行政キオスク端末の設置及び利用促進

本市におけるマイナンバーカードの保有率は７０％に迫っており、多くの方が同カードの利用によりコンビニ店舗等の行政キオスク端末（マルチコピー機）から、住民票の写しなどの証明書発行が可能な状況。しかしながら、機器操作等への不安から、来庁により証明書発行を選択される方が相当数存在。そこで、区・支所に同端末を設置し、操作方法等を支援することで、デジタルデバイドに起因する機会損失（100 円～200 円安価に証明書発行が可能）を防ぐとともに、次回以降のコンビニ店舗等での証明書発行につなげる。

加えて、同端末からの証明書発行が職員窓口での証明書発行減少（＝窓口の混雑緩和）に繋がることから、証明書発行以外の目的で来庁された方の利便性向上も期待できる。

・区役所庁舎案内のデジタル化

区・支所庁舎に近隣行政機関や民間施設等を集約・複合化しており庁舎案内の複雑化が加速。「アバター型チャットボット」による庁舎案内のデジタル化により、分かりやすくスムーズな窓口案内を目指す。

・地方創生人材支援制度を活用した効果的なスマート区役所の推進

デジタルサービス等に精通した外部人材の知見を活かし、本市が提供するオンライン申請や窓口等予約システム等のデジタルサービスのＵＩ・ＵＸの向上等によるデジタルデバイド対策や、利用率向上に向けた効果的な広報戦略に取り組み、各事業の効果の最大化を目指すとともに、全国に先駆けた区役所業務のデジタル化を追求する。

【業務の効率化】

・戸籍届書連携事務センター（仮称）の設置及び運営

戸籍法の改正により、戸籍届出に伴う業務プロセスの一部がデジタル化（非本籍地から本籍地への情報連携手法が従来の郵送からシステム間連携に変更）される機を捉えて、本市が本籍地として情報連携を受けた戸籍届出情報の入力事務を集約・委託化することで、簡素で効率的な執行体制を構築する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

文化市民局

事務事業名	困難な問題を抱える女性に対する支援事業		
予　算　額	11,100 千円	新規･充実･継続の別	新規
担　当　課	共生社会推進室男女共同参画推進担当（222－3091）		

［事業実施に至る経過・背景など］

女性をめぐる課題は、生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など複雑化、多様化、複合化しており、コロナ禍によりこうした課題が顕在化する中、新たな女性支援強化が喫緊の課題となり、令和６年４月１日に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（以下「新法」という。）が施行されることとなった。

新法では、施策の対象者を「性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他の様々な事情により日常生活又は社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性（そのおそれのある女性を含む。）」と規定しており、自治体に対して、支援対象者への包括的かつ継続的な「つながり続ける」支援や、きめ細やかな支援を行う民間団体との協働に努めることとされている。

現在、京都市ではこうした様々な問題を抱える女性に対し、各部署が個別にそれぞれの支援を提供しているが、自らの課題を客観的に認識できていない支援対象者も多いことから、包括的・専門的に対応するための施策・支援窓口が求められている。

［事業概要］

①　「困難な問題を抱える女性に対する支援」に係る包括的な支援窓口を設置し、既存資源とネットワークを活用して、支援対象者が安全かつ安心できる環境の下で自立して暮らせるよう伴走型の支援を実施。

＜主な支援内容＞

カウンセリング、精神科医による診察の提供、安全確保、各種行政支援の情報提供や手続等への同行、その他住居、就労、生活全般の自立支援

②　支援窓口での相談等により避難が必要と判断された場合、相談者を迅速にシェルターにて保護する。新法施行により、ＤＶ被害者のみならず、その他困難を抱える女性に支援対象者が拡大されるため、適切に対応できるよう支援体制を強化する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

文化市民局

事務事業名	球技場等運動施設整備事業（宝が池公園運動施設球技場改修・アーバンスポーツパーク整備）		
予　算　額	1,303,991 千円	新規・充実・継続の別	継続
担　当　課	市民スポーツ振興室（222－3135）		

［事業実施に至る経過・背景など］

＜事業実施に至る背景＞

本市では、厳しい財政状況の中、ネーミングライツや寄付金獲得による財源確保等に努め、本市負担を抑えながらスポーツ施設の整備、改修を進めている。

本事業は、令和４年度に市民の方から頂いた寄付金を活用し、老朽化している宝が池公園運動施設球技場及び下鳥羽公園球技場を改修するとともに、宝が池公園運動施設内にスケートボードをはじめとするアーバンスポーツパーク（仮称）を新たに整備するものである。

＜各施設の概要＞

宝が池公園運動施設（左京区）は、昭和６３年の京都国体開催を機に運動公園として整備された。ラグビー・サッカーなど様々な競技の大会・公式戦から身近なスポーツ活動の場として、子どもから学生・大人まで幅広い層の方々に親しまれている本市北部エリアの貴重なスポーツ拠点である。

下鳥羽公園（伏見区）は、昭和５０年に東側に球技場、西側に公園施設を設けた近隣公園として開園した。大会・公式戦のほか、子どもから学生・大人まで幅広い層の方々が、サッカーを中心に利用されている身近な公園である。

［事業概要］

＜整備、改修内容＞　注 令和６年度に実施するものは、下線表記

【 宝が池公園運動施設 】

●球技場 諸室等の改修

（令和５年度）外壁、防水対策、観客席個席化等の改修。

（令和６年度）諸室（更衣室、トイレ等）の改修。

●球技場 電光掲示板の改修

表示画面や通信設備の改修（令和５年度から令和６年度にかけて実施）。

●アーバンスポーツパーク（仮称）の整備

初級者から上級者まで多くの方々に御利用いただけるパークを、整備。

●球技場 人工芝の張替え

【 下鳥羽公園球技場 】

●照明設備のＬＥＤ化（令和５年度）

●人工芝の張替え（令和７年度以降）

令和６年度　京都市予算案　事業概要

文化市民局

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	174,666 千円	新規･充実･継続の別	継続
担　当　課	地域自治推進室　区政推進担当（222－3048）		

［事業実施に至る経過・背景など］

区民の自主的、自発的な活動を更に活性化させるため、地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区役所が柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく協働の仕組みづくりとして、本事業を平成２４年度に創設し、本市のあらゆる施策のベースとなる「地域力」の強化を図る取組を推進してきた。

今後も、令和３年度策定の各区基本計画の下、少子高齢化やデジタル化社会の進展等の社会情勢の変化を見据えたうえで、地域のつながりや一体感の醸成を促進するとともに、地域住民の主体的な取組を支援することで、ＳＤＧｓやレジリエンスの理念を踏まえた持続可能なまちづくりを推進する。

［事業概要］

各区における具体的な事業については、各区作成資料のとおり。

○　各区予算額（単位：千円）

北　区	１６，４５８	東山区	１９，４９９	右京区	１９，５０６
上京区	１２，３９０	山科区	１２，７５４	西京区	１５，９２６
左京区	１５，４３７	下京区	１０，４８７	伏見区	２９，６１０
中京区	１２，０４４	南　区	１０，５５５	合　計	１７４，６６６

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

北区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	16,458 千円	新規・充実・継続の別	継続
担　当　課	北区役所　地域力推進室（432－1197）		

［事業実施に至る経過・背景など］

北区役所では、北区の強みである“つながり”の力を活かしたまちづくりをテーマとする北区基本計画を策定している。その計画を主導し、地域の活性化及び移住定住の促進に繋がる事業について重点的に予算を配分する。また、引き続き事業の必要性の精査による徹底的な効率化を図るとともに、令和６年度は、子ども及び子育て世帯に係る取組を充実させ、幼少期からの健康意識の向上と、地域ぐるみで支え合う子育て環境のあるまちの実現を目指す。

［事業概要］

○　北区民まちづくり提案支援事業

北区基本計画を推進する区民の自発的・自主的なまちづくり活動に対し、経費の補助等の支援を行う。令和６年度は本市の「子ども等に係る取組（人口減少対策）」等が主要施策であることを踏まえ、「子ども」「妊産婦」「子育て中の親」を対象とする事業を支援するための新たな枠組みを創設予定。

○　船岡山を活かした魅力スポットの創出等その他リーディングプロジェクトの推進

船岡山及び周辺エリアの魅力を全国に向けて発信するとともに、地域経済活性化に繋げるため、北区を舞台とする短編小説を全国から募集する「京都キタ短編文学賞」や、同賞の入賞作品とともに観光情報等も収録した冊子の作成及び配布、地域の事業者等と連携した周遊ラリー企画などの取組を実施する。その他、北山林業の活性化をはじめ、北区基本計画を力強く牽引するリーディングプロジェクトを推進する。

○　［ニコニコ北っ子］健康いきいき☆キタエちゃん紙芝居

幼少期からの健康意識の向上を目的に、北区オリジナルキャラクターのキタエちゃんが登場する「運動」や「栄養（歯科）」等に関する物語の紙芝居などを作成する。

○　［ニコニコ北っ子］みんな集まれ北っ子ひろば

妊娠中、子育て中の家庭同士や身近な地域、子育て支援機関とつながるきっかけづくりを行うことで、子育て家庭の孤立を防ぎ、育児負担感・困難感の軽減を図る。また、本事業を通して関係機関のネットワークが強化されることで、地域の子育て支援のさらなる充実につなげる。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

上京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	12,390 千円	新規・充実・継続の別	継続
担　当　課	上京区役所　地域力推進室（441－5029）		

［事業実施に至る経過・背景など］

「上京区基本計画２０２５　上京新時代～文化と絆で未来を創る！」を着実に推進するため、以下の項目を重点方針とする。

・暮らしに息づく文化の継承、発展とコロナ禍で失われた絆の再生
・若者・子育て世代をはじめ、誰もが上京区に「住み続けたい」と思える環境づくり
・区基本計画に掲げる４つの将来像の実現と８つのリーディングプロジェクトの推進

［事業概要］

○　上京区民まちづくり活動支援事業

区基本計画の推進に向け、区民の自発的、主体的なまちづくり活動への補助を通して、地域コミュニティの活性化と区民参加によるまちづくりを進める。

○　上京区民ふれあい事業

上京区民まつりや史蹟ウォーキングの開催等を通じて幅広い世代が交流し、ふれあう場を創出するとともに、上京区の魅力の再発見、地域愛の向上を図る。

○　おこしやす上京 Season2　「食の上京」

上京のあらゆる食文化に焦点をあて、写真投稿キャンペーン、体験教室等を実施し、上京区の魅力を発信する。

○　上京ｄｅ婚活

縁や絆をつなぐきっかけづくり、若者世代の定住、上京区の生活文化に溶け込んでいる和装文化の振興等を図ることを目的として、和装で参加する婚活事業を開催する。

○　上京の子どもまつり

子どもたちの健全育成等を目的として、子ども同士のふれあいや地域の伝統産業・文化活動の体験、学習、遊びの場を提供する。

○　地域と協働して取り組む健康づくり

運動を通じて、口腔・栄養等を含めた健康づくりの意識を高めるため、体育振興会や健康づくりサポーター等とも協働で事業を実施し、普及・啓発を行う。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

左京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	15,437 千円	新規・充実・継続の別	継続
担　当　課	左京区役所　地域力推進室（702－1021）		

［事業実施に至る経過・背景など］

「左京区基本計画（第３期）」を着実に推進するとともに、区の強みである「自然・文化・ひと」を活かした持続可能なまちづくりを推進する。

区民等のまちづくり活動への支援を引き続き行うとともに、「地域コミュニティの更なる向上」、「防災対策の向上」、「子どもはぐくみの取組」の３点を重点的に取り組んでいく。

［事業概要］

【重点項目全体を補完するもの】

○　左京区まちづくり活動支援事業

地域課題の解決のために、区民や事業者等が自主的に企画、運営するまちづくり活動への経費の補助を行う。

【地域コミュニティの更なる向上】

○　左京区民ふれあい事業

区民の相互交流を深めるため、各種団体等と協働で、文化・スポーツに触れる催し、左京区民ふれあいまつり、正月いけばな教室等を実施する。

○　北部山間地域魅力創造・発信事業

「左京キラり市」の実施を通じ、食や自然、文化など、左京区北部山間地域の魅力を発信することで地域ブランド力を強化し、交流人口や将来的な定住人口の増加につなげる。

○　左京・健康なまちづくりプロジェクト

左京区内の関係団体と設けた「左京・健康なまちづくり協議会」を基に、区民が安心して健康で暮らせるよう、地域特性や区民の声を活かした健康づくり事業等を実施し、健康寿命の延伸を図る。

○　学生がこころから安心して過ごせるまちづくり（新規）

区内の大学生等がいきいきと安心して過ごせるよう、保健師が大学の学園祭等で精神保健福祉に対する相談・啓発活動を行い、こころの健康への理解の向上を図る。

【防災対策の向上】

○　災害に強い左京区づくり事業（充実）

地域の防災力向上や避難所運営マニュアルの点検・更新を目的に、学区ごとに避難所運営等に係る課題について意見交換会を開催するとともに、安心安全に避難所運営ができるよう、自主防災会への備蓄品の購入支援を行う。また、災害時にとるべき行動が分かる仕組みを構築し、防災力の向上を図る。

【子どもはぐくみの取組】

○　左京子育て応援ミュージックフェスタ

妊娠中の方（配偶者含む）、０歳児及びその保護者を対象とした、音楽鑑賞を中心とした子育て相談会を開催し、各専門職との相談の機会や、地域の子育て支援者・機関や同じ環境の方とつながる機会を提供することで、育児不安及び孤立感の解消を目指す。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

中京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	12,044 千円	新規・充実・継続の別	継続
担　当　課	中京区役所　地域力推進室（812－2421）		

［事業実施に至る経過・背景など］

令和５年度に４年ぶりに開催した「中京区民ふれあいまつり」を継続して実施することで区民相互の交流やふれあいを深めつつ、自治会・町内会をはじめとした区民主体の地域活動については、地域課題解決への対応、安心安全の確保及び更なるＩＣＴ化の促進による効率的な運営体制の確立など、新たな地域活動の推進をより一層支援していく。

さらに、人口減少対策も念頭におき、ＳＤＧｓやレジリエンス、脱炭素社会の実現を目指し、中京区の魅力や活力の源泉である地域企業や歴史・文化の担い手、未来を担う若者など、多様な主体との連携を一層深めながら、「第３期中京区基本計画」に掲げる３つの将来像を具現化するべく、様々な取組を推進する。

［事業概要］

○　自治会ＩＣＴ化促進支援事業

開かれた地域組織づくりや地域情報の発信強化に向け、回覧物の電子化など、ＩＣＴを積極的に活用した地域のモデルづくりをこれまで以上に推進し、地域活動を担う区民の負担軽減など、持続可能で活力のあるまちづくりを目指す。

○　地域のＩＣＴ化担い手育成事業（新規）

地域でのＩＣＴ化に向けた担い手育成を行うため、学生や若い世代の力を活用しながら講座等を開催することで、地域内にＩＣＴを利活用できるサポート体制を築く。

○　地域と企業の未来をつなぐ人財育成プログラム

京都中小企業家同友会と連携し、京都の大学に通う学生が京都の企業について学び、将来の職業観を醸成するともに、京都での就職を考えるきっかけを提供する。

○　起業・定住のまち中京「中京のスタートアップ企業魅力発信」

魅力的な企業の集積する「働く場」としての中京区の認知を広めるため、区民ライターを通じて今後活躍が期待される「スタートアップ企業」を区の新たな魅力として発信する。

○　中京区・京都堀川音楽高等学校連携事業（新規）

文化庁や市立芸術大学の移転を機に、京都堀川音楽高等学校と連携したコンサートを開催することで、学生の地域活動を促進するとともに、地域の文化力向上につなげる。

○　中京 量り売りまち歩きマップを通したエシカル消費の普及啓発事業（新規）

びん等の容器を持参し食材やものを購入する「量り売り」をテーマに、学生の協力を得ながら「中京 量り売りまち歩きマップ」等を作成し、マイボトルやエコバックのような区民ひとりひとりが環境に配慮した消費行動を気軽に実践できるよう普及啓発を行う。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

東山区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	19,499 千円	新規･充実･継続の別	継続
担　当　課	東山区役所　地域力推進室（561－9114）		

［事業実施に至る経過・背景など］

東山区役所では、区基本計画で掲げる人口減少や地域コミュニティの持続化、子育て環境充実等の重要な課題を公民連携で取り組み、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを進める。人口減少や地域コミュニティの持続化に対応する事業のほか、地域で子どもをはぐくむ事業等７事業を実施する。

【事業概要】○ 住んでこそ！東山プロジェクト（充実）

人口流出を抑制し、流入人口を増加させるため、区民・事業者・行政が連携し、移住・定住への意欲を喚起する方策を進めるとともに、新たな住環境や活力の創出を図ることにより、持続可能な定住促進の取組へと繋げていく。具体的には、東山の魅力をＳＮＳやホームページ等で情報発信するとともに、多様な人が住みたくなるような機会の提供や地域づくりにより、移住・定住意欲の増進を図る。加えて、宿泊施設等と連携したお試し居住等を通じて、移住希望者に東山に住むイメージ・住みたいイメージの醸成を図る。

○ 地域ぐるみで子どもたちをはぐくもう！東山（充実）

赤ちゃんが誕生した家庭へ主任児童委員が地域からのお祝い品をお届けする「東山はぐくみハッピーギフト」事業や、地域の子育て支援機関等と連携した交流会、東山子育て情報冊子を通して、子育て家庭と地域とのつながりを強化し、子育てしやすいまちづくりを推進する。

○ つながる防災コミュニティの実現

区総合防災訓練、各学区防災訓練や災害時における避難行動や避難所運営に関する訓練等を通して、地域・世代がつながる防災・減災のコミュニティづくりを推進する。

○ 東山区まちづくり支援事業

地域の様々な課題の解決や区基本計画の実現に向けて、区民等が自発的・自主的に企画、運営するまちづくり活動の経費へ助成を行うとともに、まちづくり活動の情報交流を図る。

○ 東山区民ふれあい事業

区民の区に対する愛着心を醸成し、子どもからお年寄りまで幅広い世代が交流し、ふれあいを創出するため、区民による運営参加の下、「東山区民ふれあいひろば」や「東山区民ふれあい作品展」を実施する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

山科区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	12,754 千円	新規･充実･継続の別	継続
担　当　課	山科区役所　地域力推進室（592－3066）		

［事業実施に至る経過・背景など］

山科区役所では、都市の成長戦略に資する人口減少対策、地域コミュニティの活性化、空き家の解消、子育て環境の更なる充実等を推進するとともに、あらゆる世代が住みよいまちの維持・発展、更には新たな定住者の確保や次代の山科の魅力を創出するため、新たに「山科まちづくりチャレンジ応援事業」を実施する。

区制５０周年（令和８年度）に向け、山科区の強みである「地域力・つながり」を活かした持続可能なまちづくりの推進を図り、第３期山科区基本計画の理念を強力に推し進めていく。

［事業概要］

○やましな移住定住促進事業（新規）

山科区における子育て環境の課題調査の結果を踏まえた具体的な施策の検討及び実施に取り組むとともに、課題解決には公民連携オープンラボも活用する。

○山科まちづくりチャレンジ応援事業（新規）

老若男女を問わず山科に関わる一人一人の誰もが、いきいきと地域活動を担えるまちを目指して、山科区で新しくまちづくり活動の第一歩目にチャレンジする方を応援する（活動費、活動場所、相談窓口など）。

○地域力を活かした空き家対策の推進（充実）

引き続き、危険空き家等の管理不全空き家に関する通報窓口として「山科区空き家相談窓口」の開設・運用を行うとともに、現在の空き家台帳の更新のための再調査を実施するなど、区内の空き家問題の更なる解決を目指して、他部署とも連携しながら取組を進める。

○やましな子育て支援事業（充実）

区内の子育て支援事業の情報等をまとめた「やましなっこおめでとうガイド」を作成、令和６年度からは赤ちゃんが誕生したすべての家庭に配布する。また、民生委員・児童委員等が山科区で出生した赤ちゃんの家庭を訪問し、育児相談等を行うことで、地域で顔の見えるネットワークづくり及び切れ目のない支援を行う。

○やましな観光振興・賑わい創出（充実）

特定非営利活動法人おこしやす“やましな”協議会との連携のもと、区内の観光情報及びまちの魅力を発信し、観光客の誘致につなげる。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

下京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	10,487 千円	新規・充実・継続の別	継続
担　当　課	下京区役所　地域力推進室（371－7164）		

［事業実施に至る経過・背景など］

「レジリエンス」、「ＳＤＧｓ」、「文化力」を基軸に持続可能で豊かな地域社会の構築に向け、第３期下京区基本計画を着実に推進するため、以下に重点を置いた取組を推進する。

１　地域における共助の力の維持・向上、若年・子育て世代への更なる魅力発信、地域とのつながりづくりによる移住・定住促進

２　安心安全や健康長寿、子育て支援、まちの賑わいづくりなどに主体的に取り組む区民、企業・団体及び学生が多く存在する強みを生かした、協働のまちづくりの推進

３　学生・若手社会人の新たな取組への支援を強化することによる「未来のまちづくりの担い手」の育成

［事業概要］

○　下京区まちづくりサポート事業「ＳＨＩＭＯＧＹＯ＋ＧＯＯＤ」（充実）

区基本計画の重点戦略の６つのテーマを推進する「良いことがたくさんの京都・下京区」に資する活動を支援する。令和６年度は、地域課題の解決を持続可能な手法で進める取組など、＋ＧＯＯＤ（プラスグッド）な下京区をつくる取組に対する支援を充実する。

○　交流促進・まちづくりアイデア創出プロジェクト

まちづくり活動を行う学生や事業者・地域団体等の連携促進や新たなアイデア創出、アイデア実現化に向けた交流会を実施するとともに、多様な方々を巻き込みながら学生・若手社会人による地域に根差した活動への伴走支援を行う。

○　下京区民“支え合い・絆づくり”支援事業

地域の魅力発見等を通じて、幅広い年齢層の区民がつながり、支え合い、絆をより一層深めるためのふれあい事業を実施する。

○　下京みらい数珠つなぎプロジェクト

下京区全体で子どもの健全育成を見通した包括的な支援体制を構築し、子どもの生きる力をはぐくみ、子どもたちの成長をより豊かなものにするとともに、地域共生社会を実現することを目的として事業展開を図る。妊娠期からの子育て支援、地域交流を促進し、子育て家庭の孤立化や児童虐待防止のための子育て支援ネットワークを強化する。また、ウェブサイト「下京子育て応援情報」等による情報発信を充実する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

南区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	10,555 千円	新規・充実・継続の別	継続
担　当　課	南区役所　地域力推進室（681－3417）		

［事業実施に至る経過・背景など］

南区基本計画（2021-2025）に掲げる７つの未来像の実現に向け、以下の観点を踏まえて各事業を展開する。

①　次代を担う子どもの「はぐくみ」を重視した取組の推進
②　移住・定住促進に向けた地域の魅力発信の充実
③　多くの企業・事業所が集積するまちの特性を活かした企業との連携強化

［事業概要］

○　南区子育て魅力発信（新規）

子育て世帯の方に南区に住んでよかったと思ってもらえるよう、新たに南区の子育て環境の魅力をまとめたリーフレットを作成し、子育て中の世帯に配布するなど情報発信の充実を図り、移住定住促進につなげる。

○　（仮称）あつまれ！みんなのカフェ（充実）

地域連携に関する協定を締結している京都中小企業家同友会南支部と協働し、令和３年度から休止中のふれあいカフェをリニューアルし実施。南区のまちに関心のある人々が、集い、語り合い、つながることができる場を創出し、参加者同士が交流することで自主的なまちづくり活動の活性化を目指す。

○　地域ぐるみでの子育て支援の推進

大型商業施設や子育て支援ルーム「すくすくみなみ」等を拠点とした親子同士の交流促進・相談の場づくりを行う。乳幼児の事故防止の啓発など、子どものいのちを守るための取組を充実する。

○　健康長寿推進事業

子育て中の母親や若い世代に向けた手軽に取り組める健康づくりとして、乳がん検診や食育セミナーなどの内容を掲載したリーフレット「ままけん」を区内のイオン３店舗等で配架・配布する。また、児童館等での健康講話の実施により、重点的に普及啓発していく。南区健康づくりサポーターをはじめとした健康寿命の延伸を推進するグループに向け、地域とのコーディネートを支援し、地域の主体的な健康づくり事業を側面から支援する。

○　南区情報ステーション事業

南区でまちづくりや人づくりに貢献している個人・団体・企業等の情報や地域情報等を発掘・収集し、SNS で広く発信することで、地域に根差したつながりの更なる活性化を図る。多くの人に南区の魅力を知ってもらえるよう、区民による地域情報の発信を支援する。

○　南区企業の“知”活用促進事業（work（わく） work（わく） みなみ）

次代を担う子どもたちが地域への愛着を深め、将来も南区に住み、働くきっかけとなるよう「ものづくりのまち・南区」の特性を活かした企業見学会・ものづくり体験等を実施する。

令和６年度　京都市予算案　事業概要

右京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	19,506 千円	新規･充実･継続の別	継続
担　当　課	右京区役所　地域力推進室（354－6466）		

［事業実施に至る経過・背景など］

右京区基本計画に掲げる将来ビジョン「右京区でくらす一人ひとりが、「わたし」と「わたしたち」の幸せな未来を思い描き、その実現のために行動している。」の実現を目標とし、右京区が持つ文化・自然・産業などの潜在的な力を高め、区内外に魅力として伝わるような取組を、地域団体やまちづくり活動団体、大学生などを巻き込みながら進めていく。

特に「右京の魅力発信事業」、「右京子どもの未来応援事業」、「みんなでつくる右京の推進」、「（仮称）スポーツ de マッチング」の４点について、より力を入れて取り組む。

［事業概要］

○右京の魅力発信事業

移住・定住を促進するため、区内の移住者、定住者、大学生、留学生などに「マイクロインフルエンサー」として、右京の魅力を SNS などで発信してもらう。これまで築いてきた地元企業・商店、まちづくり団体、大学との関係を活かし、「人と人とのつながり」をキーワードにした右京独自のコンテンツを展開することにより、右京に住んで良かった、これからも住み続けたいと多くの人の共感を呼ぶような PR 事業に取り組む。

○右京子どもの未来応援事業

右京区で子育てをする世帯との接点づくりを工夫し、子育て支援団体の情報に触れやすくすることや、子どもはぐくみサポーターとのコミュニケーションの機会を増やしていく。また、子育て情報誌の発行等を行い、地域とのつながりを深めて安心して子育てできるまちづくりに取り組む。

○「みんなでつくる右京」の推進

右京区基本計画の下で進めてきた事業を発展させ、まちづくり活動団体と地域団体が交流する場を設ける。そして、団体の個々の活動の担い手や内容の充実につなげ、双方の団体の活力向上を目指す。更に、右京区を愛する人によるまちづくり応援団体「右京ファンクラブ」の運営を進めていく。

○　（仮称）スポーツ de マッチング（新規）

新たな子育て世帯として区民になってもらいたい人と人をつなぐきっかけづくりになるよう、誰でも出来るスポーツを通じて、出会いの機会が生まれるイベントを開催する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

西京区役所・洛西支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	15,926 千円	新規･充実･継続の別	継続
担　当　課	西京区役所　地域力推進室（381－7158） 洛西支所　地域力推進室(332－9185)		

［事業実施に至る経過・背景など］

西京区役所・洛西支所では、第３期西京区基本計画や「洛西“ＳＡＩＫＯ”プロジェクトみんなで進める！実行策」を推進することで、これまでに培われた「地域力」「区民力」、まちに息づく「文化力」や関係機関・近隣自治体とのつながりをさらに強化して、誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える持続可能なまちづくりに取り組む。

［事業概要］

○　西京まるごと出産お祝い事業（新規）

西京区（本所管内）で出産された子育て世帯に対して、子育てを応援する地元店舗、企業等の参画も得て、地域の子育て支援者が地域の子育て情報の提供とともに「お祝いギフト」をお届けする。それにより、地域ぐるみで出生を祝い、子育て世帯が人とのつながりや地域に出掛けることで地域に愛着を持ってもらい、地域の活性化や地域への定着を図る。

○　住んで子育て！Ｗｅｌｃｏｍｅ洛西プロジェクト

若者・子育て世帯の移住・定住を促進するため、「京都市子育て応援アンバサダー」によるＳＮＳを使った情報発信や、赤ちゃん訪問事業において「洛･楽（らく・らく） 子育て応援メニュー」を創設し、洛西支所管内の新生児の母親がリフレッシュして元気をチャージできるプログラムの提供やマルシェ大原野のお買い物券をプレゼントするなど子育て支援を強化する。

○　西京区総合庁舎活用事業（新規）

新しい総合庁舎（令和６年２月２６日供用開始）を活用し、様々な事業を展開して、子育て・防災・環境・交流機能が強化された新庁舎を広く区民にアピールするとともに、まちづくりの拠点としての利用の促進を図る。

○　西京区の魅力と文化の発信

区内の豊かな文化資源と、まちづくり団体や魅力と個性のある民間施設、さらに近隣自治体等との有機的な連携により、エリアとしての都市格の向上とまちの活性化を図る。

○　京都西山魅力発信プロジェクト

「京都西山」の歴史・文化等を広く発信し、認知度を高め、地域住民の郷土愛の醸成や交流人口の増加、ひいては移住・定住の促進を目指す。引き続き、「京都西山スタンプラリー」の実施や、リーフレット及び動画の活用等に取り組むとともに、新たに「京都市子育て応援アンバサダー」による、子育て世代に対するＳＮＳでの情報発信を行う。

○　大原野「地域ブランド」戦略の推進

令和６年度末に１０年間の期間満了を迎える現戦略の総仕上げとして、協議会が取り組む地域活性化策の各種取組を支援する。また、戦略の点検・総括結果、及び今後の展開（令和７年度以降の活動方針）を取りまとめる。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

令和６年度　京都市予算案　事業概要

伏見区役所･深草支所･醍醐支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「持続可能なまちづくり支援事業」		
予　算　額	29,610 千円	新規･充実･継続の別	継続
担　当　課	伏見区役所　地域力推進室（611－1295） 深草支所　地域力推進室（642－3125） 醍醐支所　地域力推進室（571－6105）		

［事業実施に至る経過・背景など］

伏見区では、「伏見区基本計画 2025」に掲げるまちづくりの将来像の実現に向け、区民の安心安全に必要な地域活動への支援をはじめ、移住・定住促進や担い手づくり、地域経済の活性化、脱炭素社会実現に向けた取組など、持続可能な伏見のまちづくりを推進する。

［事業概要］

○ 住むまち伏見プロジェクト（充実）

「住むまち伏見」ホームページにおいて引き続き伏見の魅力を発信するとともに、「伏見で働く」観点から、交流会等の実施による若手事業者のネットワーク形成と働くまちとしての魅力発信を図る。さらに、伏見での居住に関心のある方に向け、民間事業者と連携した取組を実施するなど、伏見区への移住・定住を促進する。

○ 「Ｅ－ＴＯＫＯ深草」子育て応援プロジェクト（充実）

ウェブサイト「デジスタイル京都・E-TOKO 深草」において、子育て支援団体とも連携し、親子で利用しやすい「子育て応援店舗」や、お出かけスポット、地域の子育てサロンでの取組等、深草で子育てすることの魅力が感じられ、つながりづくりの一歩を後押しする情報を発信する。また、親子同士のつながりを育む交流事業を実施するとともに、子育て世代の「やってみたい」を掘り起こして活躍の場を創出し、子育て世代の移住・定住を促進する。

○ 住むまち・醍醐の魅力再発見事業（新規）

人口減少が顕著な醍醐において、今後のまちづくりの在り方を考え、「住むまち」としての醍醐の魅力を発掘・発信する「住むまち・醍醐の魅力再発見プロジェクト」を実施する。実施に当たっては、「だいご まちづくりプレイヤー養成講座」の修了生やまちづくりに関心のある学生等からなる「だいご地域活動応援隊」を活用し、地域コミュニティの活性化と担い手育成、移住定住促進につなげていく。

○ 伏見連続講座

地域の大学、まちづくり団体が自ら企画・運営等を行い、伏見の奥深い魅力や地域資源を学び、育み、伝える講座やまち歩きの開催を支援する。また、区内企業等と連携した連続講座特別編を引き続き開催し、脱炭素等をテーマに、学び・体験の機会を提供する。